

地ブラ事務局 が行く!

シリーズ 第12弾 水車挽き小麦粉

●販売価格
1袋 500g入り ¥250 (税込み)

水田跡地を使い、
農薬を使わず自然な
状態で栽培した小麦
を、風味を損なわな
いように水車挽きで粉
にしています。シロガ
ネコムギ(中力粉)と
ミナミノカオリ(強力粉)の2種類を生産しています。
普段のお料理やお菓子作りにはシロガネコムギ(中
力粉)、パン作りにはミナミノカオリ(強力粉)と使
い分けて、本来の小麦の風味をお楽しみください。



今回は、農薬を使用せず自然のままに小麦を栽培し、水車で小麦粉を挽いて自家生産自家販売している福嶋求仁子さんをご紹介します。

小麦本来の風味を
お試しください!



生産者の福嶋さんに
突撃インタビューしました!

Q1. 認証品に選ばれ、これからの意気込みをお願いします。

A1. 認証品に選ばれたのが今年の5月で、6月に23年度小麦の収穫作業もあり、出荷数はまだ少ない状態です。しかし、協議会のホームページに掲載され、早速、パン用小麦粉の問い合わせがありました。地域で昔から食べられている本物の小麦の味をこの機会に多くの皆さんに食していただければと思っています。

Q2. ブランド推進協議会に期待することは?

A2. 地産地消は、もう聞きなれた言葉ですが、地域の食文化を守り育てていく事はとても大切な事だと思っています。私たちが当たり前すぎて、気づいていない合志の美味しいものをもっともっと掘りおこしていただき、内外に発信していただければ幸いです。

●ご注文・問い合わせ先

すみっこの台所 担当者 福嶋 求仁子
合志市福原2922 ☎247-3099 FAX247-3099
ホームページアドレス <http://www.sumi-dai.com/>
※すみっこの台所・元氣市・さくちのまんまでも取り扱っています。

問い合わせ先 合志市特産品地域ブランド推進協議会 (合志庁舎 商工振興課内)
☎242-1270 ホームページアドレス <http://www.kinasse-koshi.jp>

楽しく男女共同参画を 学んでみませんか?

本市は、「男女共同参画まちづくり条例」を制定して、性別にかかわらず、一人ひとりの人権が尊重され、心豊かに生きることが出来るまちづくりに取り組んでいます。

その一環として講演会を実施します。歌あり、講演ありと楽しく学べる講座です。皆さんの参加をお待ちしています。

と き 8月23日(火)
午前9時30分～2時間程度

ところ 御代志市民センター講堂

- 講師 九州ルーテル学院大学客員教授
大畑 誠也(おおはた せいや)先生
- 演題 「男も女も元気が一番!」
- 託児 1歳～就学前の幼児 先着10人
8月19日(金)まで総務課へお申し込みください。
- その他 高齢者対象の教養講座「ことぶき大学」と共催です。



問い合わせ先 総務課 総務・男女共同参画班 (合志庁舎) ☎248-1112

選挙への参加を呼びかける活動を 一緒にしませんか

市選挙管理委員会では、選挙への参加呼びかけ、明るい選挙の推進などを一緒に活動していただける推進委員を募集します。

明るい選挙推進
キャラクター
「めいすいくん」



●明るい選挙推進協議会とは

選挙は、私たちが政治に参加する最も重要な基本的な機会です。しかし投票率は毎回低落傾向にあり、特に20代、30代の投票率は低い状況です。明るい選挙推進協議会では、投票への参加に向けた呼びかけなどの活動を行なっています。

●応募資格

満20歳以上の人で、本市に居住し、選挙に関心を持っている人。

●応募方法

住所、氏名、生年月日、職業、電話番号、応募の動機を明記し、市選挙管理委員会へ郵送、FAX、メール、持参のいずれかでご応募ください。(様式は自由)。

●応募期限

9月1日(木)
●報酬など 報酬はありません(交通費のみ支給)。任期は2年間です。

申し込み・問い合わせ先 〒861-1195 合志市竹迫2140番地 市役所合志庁舎2階
市選挙管理委員会事務局 ☎248-1112 FAX 248-1196
Eメール: senkyo@city.koshi.lg.jp

素敵な人生 素敵なパートナー



市男女共同参画
推進懇話会委員
大藪恵美子

懇話会委員も2期目となりました。

不幸な大震災も、世の中を見直すきっかけとなり、ますます人と人の結びつきや、男女共同参画の精神の必要性が感じられます。

昨年なのですが、あるホテルの美容室で美容師さんと話をする機会がありました。

その人には、小学一年生のお子さんがいて、家庭と仕事を両立しているとのことでした。ホテル内の勤務ということで、休みも不規則。早朝、遅番の仕事もあるらしく、大変そうでした。

そのような理由で、従来ですと結婚と同時に退職するのが一般的だったそうです。彼女も一

旦退職したものの要請があり、復職したとのことでしたが、子どものために時間をとるのはなかなか難しいようでした。

男女共同参画を推進するうえで、会社や企業の組織のトップである経営者などの認識が変われば、職場は変えられると思っていましたが、やはり、同僚の理解と協力を得ないと働きづらいようです。

また、男女共同参画といえば、どうしても「男性対女性」で考えがちですが、同性ゆえに厳しい目もあるようです。同じように、女性の多い職場の看護師さんたちの悩みを聞くこともあります。

広く女性の社会進出を望むのであれば、これからは同性が同性を、もっと応援してもよいのではないのでしょうか。そうすれば、男性もきつと変わってくれることと思います。